本資料のうち,	枠囲みの内容
は商業機密の観	見点から公開で
きません。	

女川原子力発電所第2号	号機 工事計画審査資料
資料番号	02-エ-A-06-0002_改 0
提出年月日	2021年6月15日

工事計画に係る説明資料

放射性廃棄物の廃棄施設のうち

液体廃棄物処理系(5.2.2.1 放射性ドレン移送系)

(本文)

2021年 6月

東北電力株式会社

申請範囲

- 5. 放射性廃棄物の廃棄施設
 - 5.2 気体,液体又は固体廃棄物処理設備
 - 5.2.2 液体廃棄物処理系
 - 5.2.2.1 放射性ドレン移送系
 - (9) 主要弁
 - (10) 主配管

5.2.2 液体廃棄物処理系

5.2.2.1 放射性ドレン移送系

(9) 主要弁

						変 更 前	変 更 後
名					称*1	K11-F003*2	
種				類		止め弁	
最	高	使 用	圧	力	MPa	0. 98*3	
最	高	使 用	温	度	°C	171*3	
主	呼	び	径	*4	_	80A*5	
主要寸法	弁	箱	厚	さ	mm	以上*3	
法	弁	ふた	厚	さ	mm	以上*3	
材	弁			箱		SCPH2	
材料	弁	ş		た	_	SCPH2	変更なし
駆	区動方		法		電気作動	反义/よし	
個				数		1	
取	系 (統 ライン	/ 名	名)		* ³ K11-F003 放射性ドレン移送系	
付箇	設	置		床	_	*6 原子炉格納容器内 0.P.1.15m	
所	X		番	の 号		_	
		、防護上 必要 <i>た</i>	この 配 高]慮 さ	—		

注記*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2:記載の適正化を行う。既工事計画書には「F003」と記載。記載内容は、設計図書による。

*3 :既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

*5 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「80」と記載。記載内容は、設計図書による。

*6 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は,設 計図書による。

0

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

							変更前	変更後		
名						称*1	K11-F004*2			
種類							止め弁			
最	高	使	用	圧	力	MPa	0.98*3			
最	高	使	用	温	度	°C	171*3			
主	呼		び	彳	₹*4 £		80A*5			
主要寸法	弁	常相	Ì	厚	さ	mm	以上*3			
法	弁	弁ふた厚				mm	以上*3			
材	弁 箖				箱		SCPH2			
材料	弁 ふ				た	_	SCPH2	変更なし		
駆	駆 動 方		方 法		_	電気作動	反义 法 U			
個					数		1			
取	系 統 (ライン名		系 統 名 (ラ イ ン 名)			* ³ K11-F004 放射性ドレン移送系				
付 設 置		置床		床 —		*6 原子炉建屋 0.P8.10m				
					_					
注記。	が	溢水防護上の配慮 が 必 要 な 高 さ					[計画書にけ「夕称マけ 金乗号			

注記*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2:記載の適正化を行う。既工事計画書には「F004」と記載。記載内容は、設計図書による。

*3 :既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

*5 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「80」と記載。記載内容は、設計図書による。

*6 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は,設 計図書による。

 $^{\circ}$

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

							変 更 前	変 更 後			
名						称*1	K11-F103*2				
種 類						_	止め弁				
最	高	使	用	圧	力	MPa	0.98*3				
最	高	使	用	温	度	°C	171*3				
主	呼		び	彳	₹*4 £		65A* ⁵				
主要寸法	弁	常相	Ì	厚	さ	mm	以上*3				
法	弁	弁ふた厚				mm	以上*3				
材	弁 箱			箱	_	SCS16A					
材料	弁 ふ				た	_	SCS16A	変更なし			
駆	駆 動 方		方 法			電気作動	<u>کرک ۵ 0</u>				
個					数	_	1				
取	系 統 (ライン名		系 統 名 (ラ イ ン 名)		_	* ³ K11-F103 放射性ドレン移送系					
付設置		置床		_	*6 原子炉格納容器内 0.P.1.15m						
所	溢区			_	_						
溢水防護上の配 が 必 要 な 高							[計画書にけ「夕称又け金釆号				

注記*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2:記載の適正化を行う。既工事計画書には「F103」と記載。記載内容は、設計図書による。

*3 :既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

*5 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。記載内容は、設計図書による。

*6 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は,設 計図書による。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

							変更前	変更後			
名						称*1	K11-F104*2				
種類類							止め弁				
最	高	使	用	圧	力	MPa	0.98*3				
最	高	使	用	温	度	°C	171*3				
主	呼		び	彳	₹*4 £		65A*5				
主要寸法	弁	イギ	Ì	厚	さ	mm	以上*3				
法	弁	弁ふた厚				mm	以上*3				
材	弁 箖			箱	_	SCS16A					
材料	弁 ふ				た	_	SCS16A	変更なし			
駆	駆 動 方		方 法		_	電気作動					
個					数		1				
取	系 統 (ライン名				_	* ³ K11-F104 放射性ドレン移送系					
付 設 置		置床		—	*6 原子炉建屋 0.P8.10m						
		正				_					
注記。	が	必	要な		さ		[計画書にけ「夕称マけ 金乗号				

注記*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「名称又は弁番号」と記載。

*2 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「F104」と記載。記載内容は、設計図書による。

*3 :既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

*4 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

*5 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。記載内容は、設計図書による。

*6 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は,設 計図書による。

 $^{\circ}$

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

(10) 主配管

	(10) 主配官		変更前				変更後					
	名 称		最高使用	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		名最高使用 圧最高使用 上 (MPa)人 (\mathbb{C}) \mathbb{A} 厚 \mathbb{A} \mathbb{P} \mathbb{C}^{*2} 村料				
	* ³ ドライウェル機器ドレンサン プポンプ	0. 98*4	95	60.5	(5.5)	STPT370 *5		変更なし				
	~ K11-F003			76.3	(5.2)	STPT38						
	*3 K11-F003 ~ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-51)	0. 98 ^{*4}	171	89.1	(5.5)	STS42		変更なし				
	*3			89.1	(5.5)	STPT38						
	K11−F004 ~	0.98*4	66	76.3	(5.2)	STPT38		変更なし				
	廃液収集槽入口収集管			76.3	(5.2)	SUS304TP						
	*6 ドライウェル床ドレンサンプ ポンプ	0. 98*4	66	60.5	(3.9)	SUS304TP		変更なし				
放射性	~ K11-F103			76.3	(5.2)	SUS304TP	放 射 ビ ド	及入140				
放射性ドレン移送系	*6 K11-F104	0.98*4	66	76.3	(5.2)	SUS304TP	ドレン移送系	変更なし				
移送系	ドライウェル機器ドレンサン プポンプ出口配管合流点		00	76.3	(5.2)	STPT38						
	原子炉建屋原子炉棟機器ドレ		95	60.5	(5.5)	STPT370 *5						
	ンサンプポンプ	0. 98*4	90	76.3	(5.2)	STPT370 *5		変更なし				
	~ 廃液収集槽入口収集管	0.00	66	76.3	(5.2)	*5 STPT38 STPT370						
	原子炉建屋廃棄物処理区域機			60.5	(5.5)	STPT38						
	器ドレンサンプポンプ ~ 廃液収集槽入口収集管	0. 98*4	66	76.3	(5.2)	*5 STPT38 STPT370		変更なし				
	タービン建屋機器ドレンサン プポンプ	0.98*4	66	60.5	(5.5)	*5 STPT38 STPT370 *5		変更なし				
	~ 廃液収集槽入口収集管			76.3	(5.2)	STPT38 STPT370						

			変更前				変更後				
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称 $\begin{bmatrix} 最高使用 \\ E \\ \end{bmatrix}$ $\begin{bmatrix} a \\ b \\ \end{bmatrix}$ $\begin{bmatrix} b \\ c \\ c \\ MPa \end{bmatrix}$ $\begin{bmatrix} b \\ c \\ c \\ C \end{bmatrix}$ $\begin{bmatrix} c \\ c \\ mm \end{bmatrix}$ $\begin{bmatrix} c \\ c \\ mm \end{bmatrix}$	厚 ^{さ*2} 材 料 (mm)			
	原子炉建屋原子炉棟床ドレ サンプポンプ ~	0.98 ^{*4}	66	60.5	(3.9)	SUS304TP					
	床ドレン・化学廃液収集タ ク入口収集管(床ドレン用)	\sim	00	76.3	(5.2)	SUS304TP	変更なし				
放射	原子炉建屋廃棄物処理区域 電導度ドレンサンプポンプ ~		60.5		(3.9)	SUS316LTP	次 対 数 変更なし				
放射性ドレ	床ドレン・化学廃液収集タ ク入口収集管(化学廃液用)			76.3	(5.2)	SUS316LTP	放 射 変更なし 性 ド				
ン移送系	タービン建屋高電導度ドレ サンプポンプ ~	0.98^{*4}	66	60.5	(3.9)	SUS316LTP	・ > 移 送 変更なし				
系	床ドレン・化学廃液収集タ ク入口収集管(化学廃液用)	\sim		76. 3	(5.2)	SUS316LTP	系 				
	タービン建屋床ドレンサン ポンプ ~	プ 0.98 ^{*4}	⁴ 66	60.5	(3.9)	SUS304TP	変更なし				
	床ドレン・化学廃液収集タ ク入口収集管(床ドレン用)	~	00	76.3	(5.2)	SUS304TP					

02 🕕 II R0

注記*1 : 外径は公称値を示す。 *2 : ()内は公称値を示す。

*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル機器ドレンサンプポンプから廃液収集槽入口収集管まで(ドライウェル機器ドレンサンプポンプ出口配管)」と記載。

*4 : S I 単位に換算したものである。

*5 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。

*6 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル床ドレンサンプポンプからドライウェル機器ドレンサンプポンプ出口配管まで」と記載。